

# 半導体漫遊記

(292)

## 湯之上隆

域でどれだけの規模の売上高を占めたかが重要なのではないかと思うからだ。

そこで、データがそろっている前工程の製造装置について、1997年〜2021年に97年〜2021年にかけて、国や地域の売上の米アップライド、2位のオランダASML、3位の米Lam、4位の韓国が3・3%、5位の中国が0・4%を見て、筆者はがくぜとなった。

米調査会社Tech Insightsが発表した2021年の半導体製造装置売上高ランキング・トップ15には、米企業が4社(アップライドマテリアルズ、ラムリサーチ、KLA、テラダイン)、欧州企業が2社(ASML、ASMI)、アジア企業が2社(ASMP、SEMES)、そして日本企業が7社(東京エレクトロン、アドバンテスト、スクリーン、Kokusai、日立ハイテク、キヤノン、ディスコ)がランクインした。

「トップ15のうち、約半分の7社が日本だ」と無邪気に喜んで

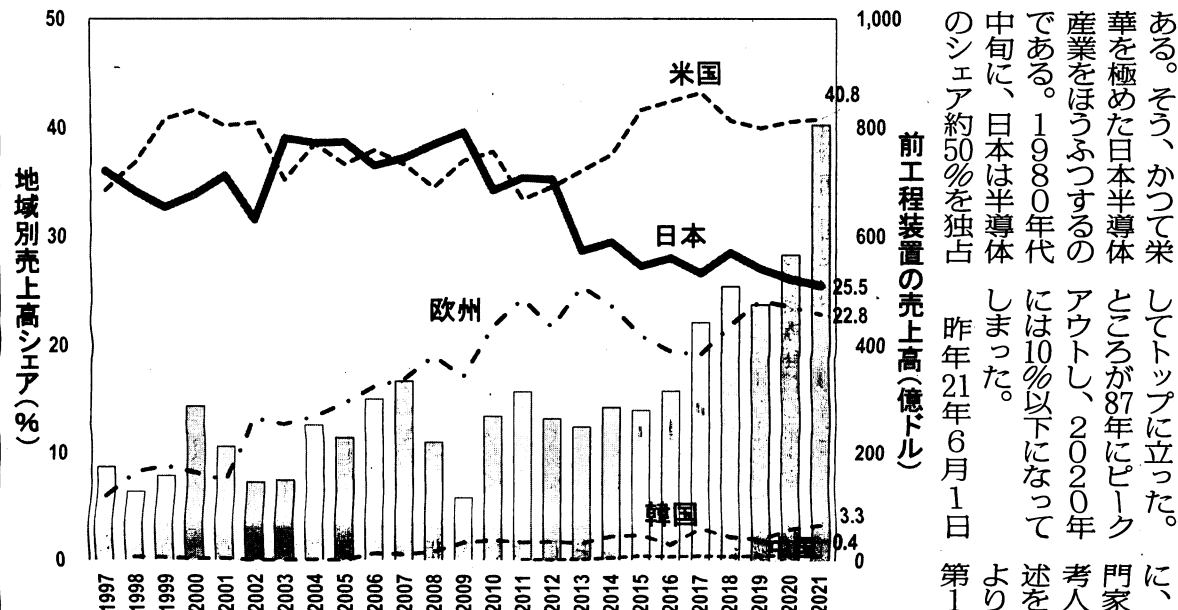
# 前工程装置を強化せよ

## 世界シェア、2位も危うく

のTEL、5位の米KLAの売上高が非常に大きく、6位以下と大きく乖離しているため、たとえ15位以内に入っても、その売上高は大きくない。

従って、トップ15に何社ランクインしたかが問題ではなく、国や地

韓国や中国がすぐに日本に追い付くとは思わないが、3位の欧州と2位の日本のシェアの差はわずか2・7%しかない。そして欧州の製造装置の売上高のほとんどを占めているのが、露光装置市場を独占しているオランダ



ある。そう、かつて米華を極めた日本半導体産業をほうふつするの

に、筆者は半導体の専門家として衆議院に参事人招致され、意見陳述を行い「強いものをより強くすること」を第1の政策に掲げるべきであると論じた。ところが、強い製造装置に陰りが見えてくる。半導体工場の新増設に補助金を投入する改正法は成立したが、そんなことよりシェアが低下している前工程の製造装置を強化するべきである。(微細加工研究所 所長)